



# 富田 たく

です。



事務所 高円寺南3-30-12 電話 3314-5551 FAX 3318-1492  
メール info@tomitaku.jp ツイッター http://twitter.com/tomita\_taku  
ホームページ http://www.tomitaku.jp

## 宮城県石巻市・震災救援対策センターへ 支援に行ってきました



### 救援募金と野菜と

### お米を持って被災地

日本共産党杉並地区委員会は5月10日から12日まで、宮城県石巻市にある日本共産党震災・救援対策センターへ支援隊を派遣。私・富田たくを含む青年4人が救援募金と野菜・お米などの支援物資を届け、対策センターの支援を行ってまいりました。

↑ 対策センター所長と事務局長に救援募金と支援物資を手渡す支援隊（金子けんたろう、富田たく、山田こうへい）

今回支援隊を派遣したのは宮城県石巻市にある日本共産党の震災救援対策センターです。現地の共産党事務所自体も津波の被害をうけ、多くのスタッフが被災するなか、それでも地域住民の救援を行うために対策センターを立ち上げ、救援活動にあたっております。

支援隊と支援物資を現地へ送るため、対策センターへ「一番必要なものは？」と確認したところ、「とにかく野菜」との回答がかえってきたので、高円寺地域の八百屋さん数件を回り、野菜を大量に購入し現地へ届けました。また、支援隊を派遣することから、ピラなどでお知らせしてから5日間で約60万円も集まりました。皆様の応援、ご支援、本当にありがとうございます。



# 早急な生活再建に向けて継続的な支援を！



津波の被害の状況は本当に酷く、海辺の漁港は全て瓦礫と化していました。波にもまれた乗用車が踊るようにひっくり返ったり、逆立ちした状態で放置され、多くの漁船が陸地へ打ち上げられ、かろうじて形が残っている建物に漁船が突き刺さっていたりと、本当にここが町だったのかも疑うほどでした。

11日・12日は女川町の高野博町議からの依頼で、避難所で生活されている方々の復興に向けての要望や現状などをお聞きする作業を行いました。実際には仮設住宅の設置の遅れや、雇用問題など、生活再建が遅々として進まない状況のなかで、先のことなど考えられないといった声が多数を占めていました。復興と救援に向けて、引き続き支援をしていくことが求められていると、あらためて実感いたしました。

## いきものデータ

- ◆和名：アオサギ
- ◆学名：Ardea cinerea
- ◆分類：脊索動物門＞鳥綱＞コウノトリ目  
＞サギ科＞アオサギ属



再生すること  
が、彼らの  
棲む場所を  
作り出して  
いく近道だ  
と思います。

生態全体を保全・

は飾り羽が美しく、その細くて長い羽が風になびく姿が水鳥ファンにはたまりません。杉並区では「水鳥の棲む水辺創出事業」という事業を行っています。水鳥だけでなく生態系全体を保全・



善福寺川周辺で見つけたアオサギです。震災前のまだ寒い時期なので、長い首を縮めて日向ぼっこをしているようです。身体全体が灰色ですが、和名は「アオサギ」。昔の日本は灰色のような淡い色を青と表現していたのがその由来だそうです。撮影したときは冬羽で全体的に白っぽい色をしていました。サギの仲間

杉並のいきもの紹介⑨

## 善福寺川の「アオサギ」

## 救援募金のお願い

震災発生から2ヶ月以上が立ちましたが、被災地の復興には多くの人手とお金が必要です。復興支援のために、継続的な救援募金へのご理解とご協力をお願いいたします。

日本共産党発行



日刊●月2,900円  
日曜版●月 800円

35年前から原発の  
真実を伝えていた！！

【ご購入の連絡先】

◇日本共産党 富田たく 事務所

TEL : 3314-5551

FAX : 3318-1492